

「おおいた観光データカタログ」の公開について

配布資料

1. 背景・課題

- 旅行ニーズの多様化、観光関連事業者等における人手不足
→勘や経験だけに頼らないデータマーケティングに基づく取組が必要
- 第5期ツーリズム戦略(R7年～R9年：大分県の観光戦略)の推進指針として、「データマーケティングに基づく施策の展開」を掲げ、データマーケティング基盤の強化が必須

2. 「おおいた観光データカタログ」の概要

【概要】

- 観光関連データ(右記)を一元的に集約、可視化
- AIを活用し、利用者の分析作業をサポート
(例：各市町村でどのワードが多く言及されているか 等)

【主な利用想定者】

- 宿泊・交通・飲食等観光関連事業者、
県内DMO・観光協会・市町村 等(以後「観光関連事業者等」)
- 観光に興味を持つ学生、研究機関等

【想定される効果】

- ・観光関連事業者等における事業戦略策定、事業・施策展開に寄与
→観光関連団体や企業等の事業展開の根拠となり、事業効果の最大化を後押し
- ・大分県観光の可視化(見える化)により、県民の観光に対する理解促進及び観光客受入受容度の高まり
- ・学生の自由学習等にも活用され、大分県観光を身近に感じ、観光関連人材の確保・育成に寄与

【今後の展望】

- 利用者の声を踏まえ、必要機能(取得データ含む)の強化・見直し
- 当該ツールを活用し、それぞれの事業展開につなげるために、観光関連事業者等の伴走支援体制を強化

「おおいた観光データカタログ」の構築



観光関連データ

- ・宿泊者数(国内外、施設種別)
- ・消費額(国内外、宿泊・飲食等分野別、国籍別)
- ・旅行者満足度(満足した／しなかった理由)
- ・再来訪意向(また観光に来たいと思うか)
- ・住民満足度(居住地域における旅行者の受入受容度)
- ・WEBページの閲覧情報(閲覧数、属性、滞在時間)
- ・SNS発信後の効果(閲覧数、いいね数 等) 等

それぞれ市町村別データあり
(宿泊者数等一部調整中)

持続可能な
観光地域づくり
に寄与

【担当】

観光政策課 観光産業振興班 TEL:097-506-2116 Mail:a14180@pref.oita.lg.jp